

新潟県立大学北東アジア研究所公開セミナー
「最近の北東アジア経済・社会情勢を俯瞰する」

2024年5月8日（水）

会場： 生涯学習センター（クロスパルにいがた）

モンゴルの経済・貿易の最近の動向

エンクバヤル・シャクダル教授（経済学博士）

新潟県立大学北東アジア研究所（ERINA-UNP）



概要

- I. モンゴルの概要
- II. マクロ経済の動向
 - GDP、インフレ率
 - 貿易
- III. 結論



Ⅰ モンゴルの概要 Overview



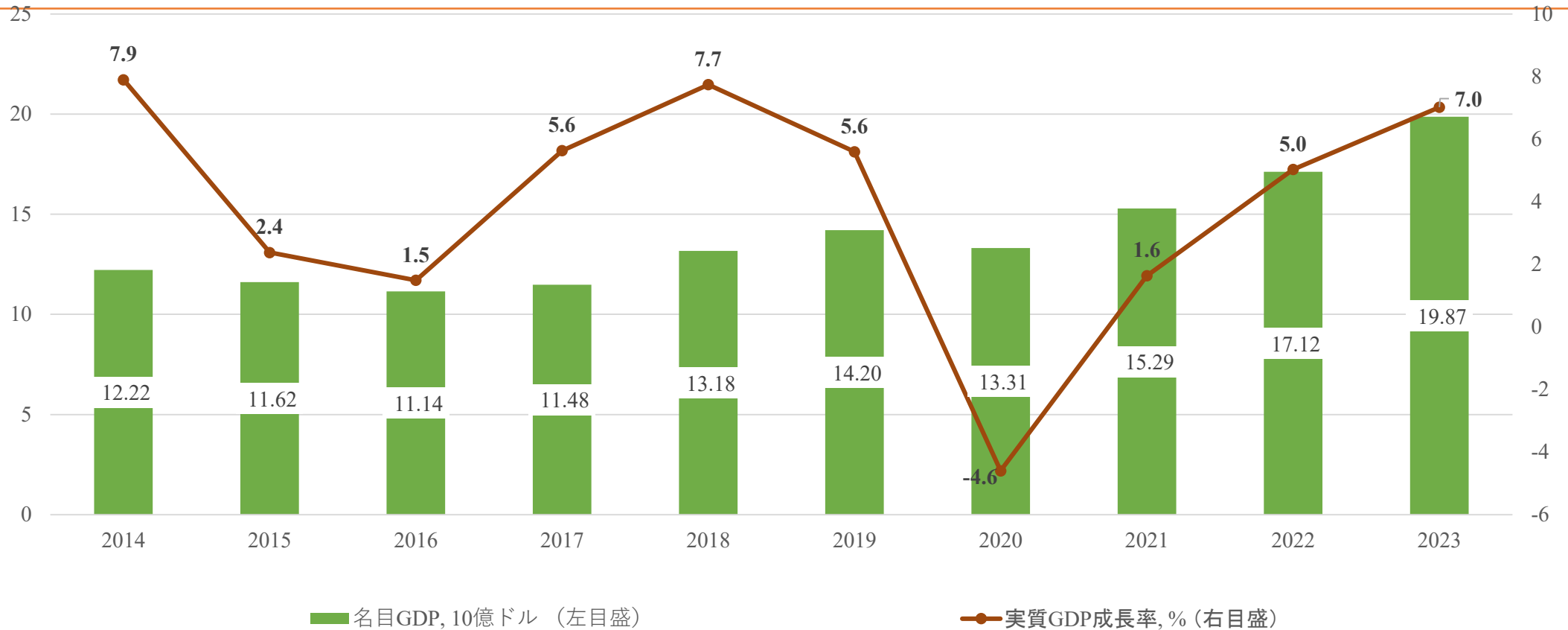
行政区分と人口 (2022年) Administrative Division & Population	
アイマグ (県) /合計数 <i>Aimag</i> (Prefecture) / Sum	21/330
首都 / 地区数 Capital city/#district	ウランバートル /9 Ulaanbaatar
人口：百万人 (前年比増減率) Population, million (YoY change,%)	3.505 (↑1.4%)
- 合計 Total	3.397 (↑0.8%)
- 居住者 Resident	全体の60.5%(↓0.8pt)
- 35歳未満 Under age of 35	1.245 (↑1.9%)
- 労働力人口 Labor force	
都市人口： Urban population:	全体の70.8% (↑2.5%)
ウランバートル Ulaanbaatar	173.5万人 (↑2.5%) 都市部の70% 全体の49.5%

II マクロ経済の動向

図1 モンゴルのGDP動向

モンゴル経済は新型コロナウイルスのパンデミック・ショック以降「V字型」回復を達成することができた。2023年の実質GDP成長率は7%で、過去10年間で最も高い成長率のひとつだった。

The Mongolian economy could attain a "V-shaped" recovery since the COVID-19 pandemic shock and in 2023 the real GDP grew 7%, which was one of the highest growth rates in the past decade.



出典：モンゴル国家統計局、<https://1212.mn>

モンゴル：実質GDP成長率への寄与

Contributions to Real GDP Growth

図2 供給サイド（生産アプローチ）

Supply Side (Production approach)

2023年：成長の最大の原動力はサービス業、次いで鉱工業であった。
In 2023, service sector was the largest driver of growth, followed by mining.

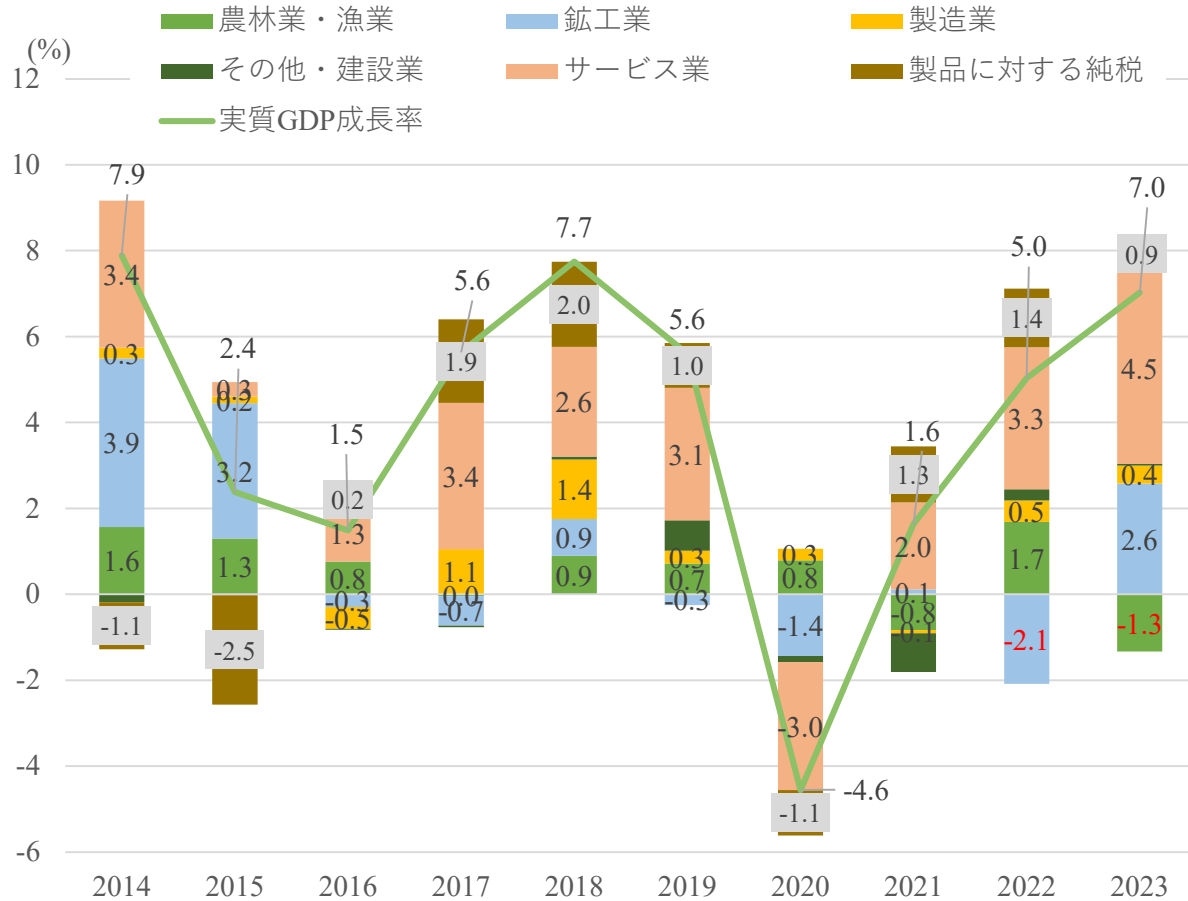


図3 需要サイド（支出アプローチ）

Demand Side (Expenditure approach)

2023年の経済成長エンジンは最終消費支出と純輸出であった。
Final consumption & net exports were the growth engines of the economy in 2023.

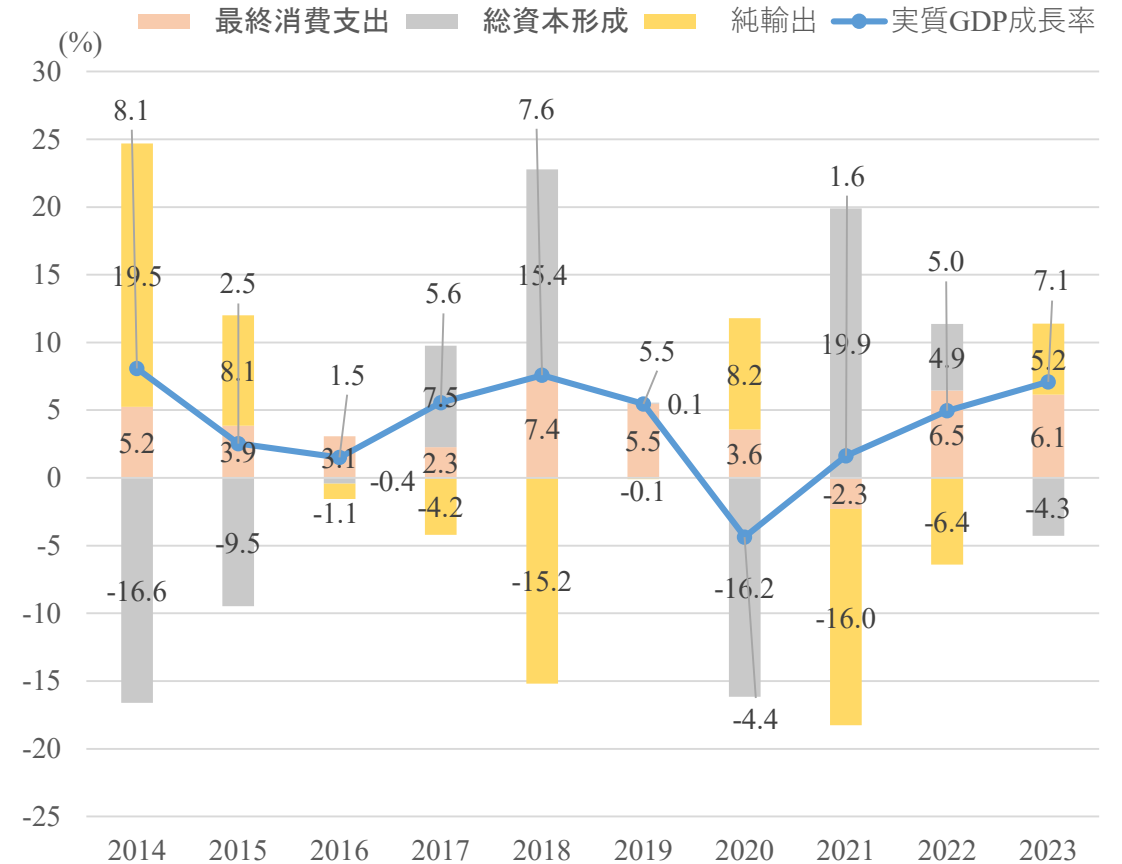
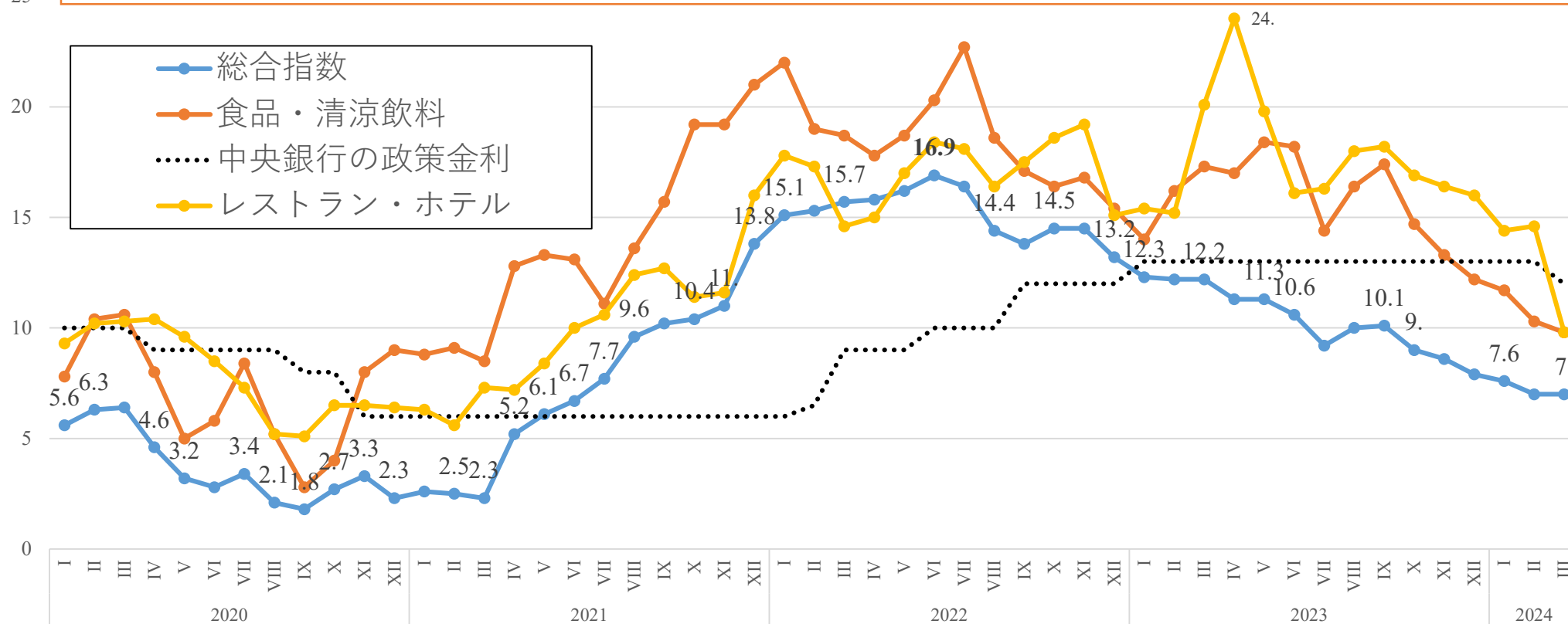


図4 全国消費者物価変化率（前年比、2020年 = 100） National CPI Change, Year-on-Year

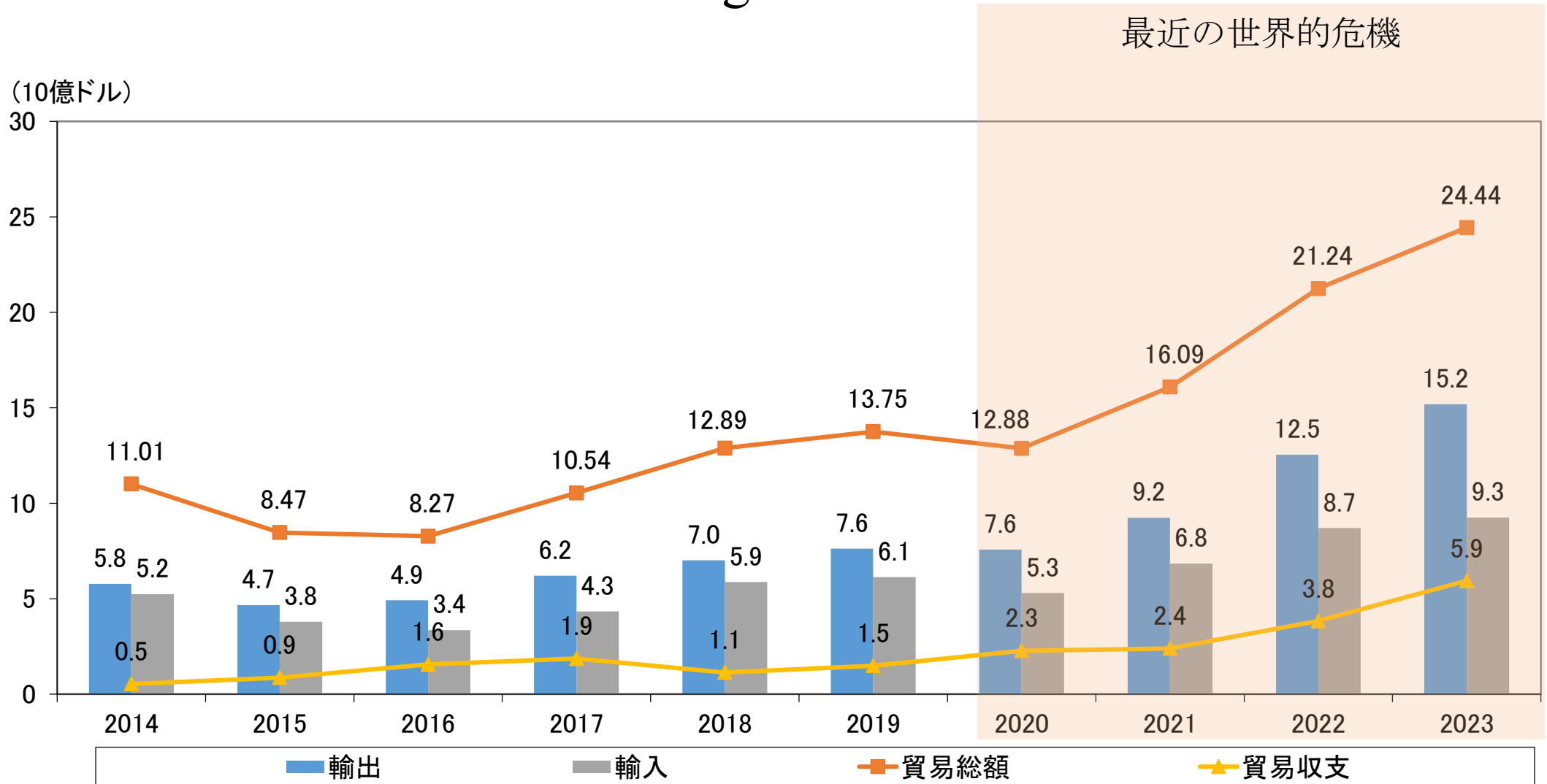
インフレ率は2021年半ば以降、政府目標率を上回って推移してきたが2022年半ばから低下し始め、2024年2月には7%に達した。モンゴル銀行は政策金利を12%に引き下げた。

(%) Inflation has remained above the government target rate since mid-2021, but began to decline from mid-2022, reaching 7% in February 2024. The Bank of Mongolia reduced the policy rate to 12%.



出典：モンゴル国家統計局、<https://1212.mn>

図5 モンゴルの対外貿易（2014～2024年）
Foreign Trade



出典：モンゴル国家統計局、<https://1212.mn>

図6 モンゴルの貿易相手国（2014～2023年）

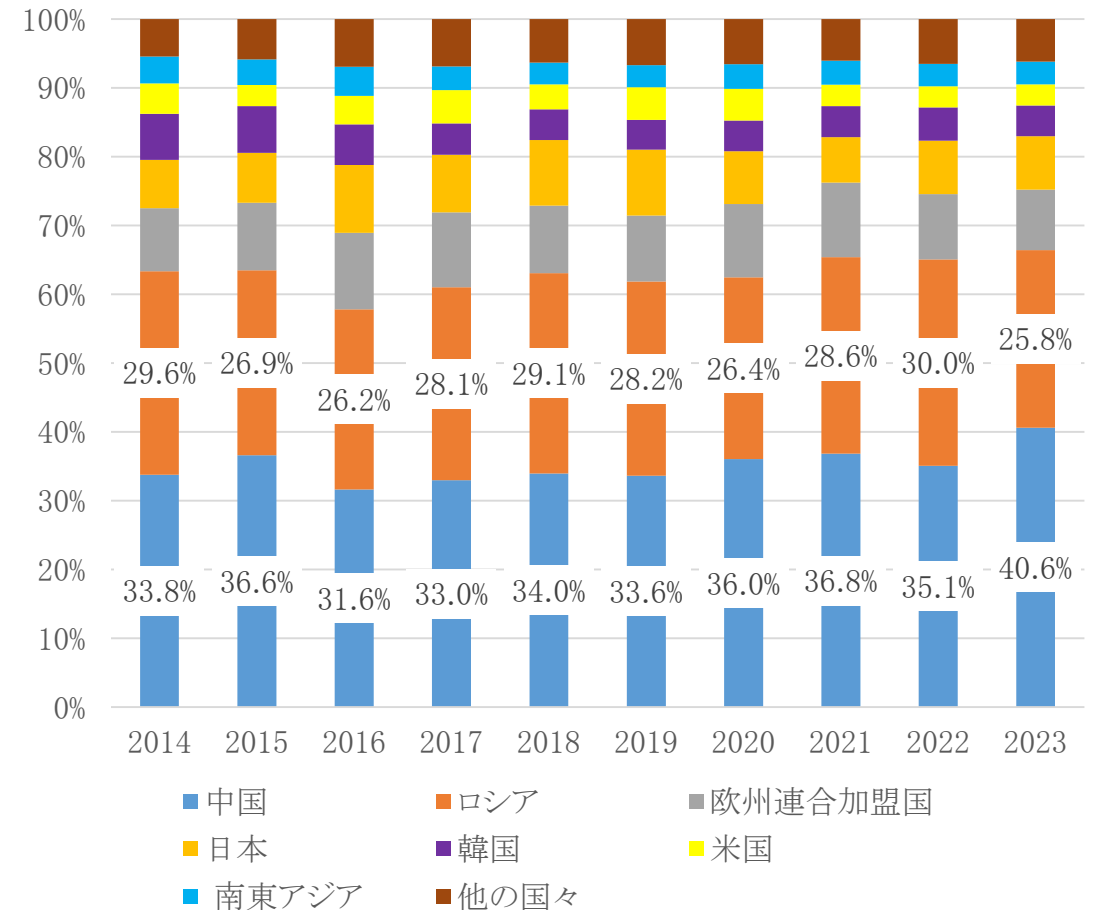
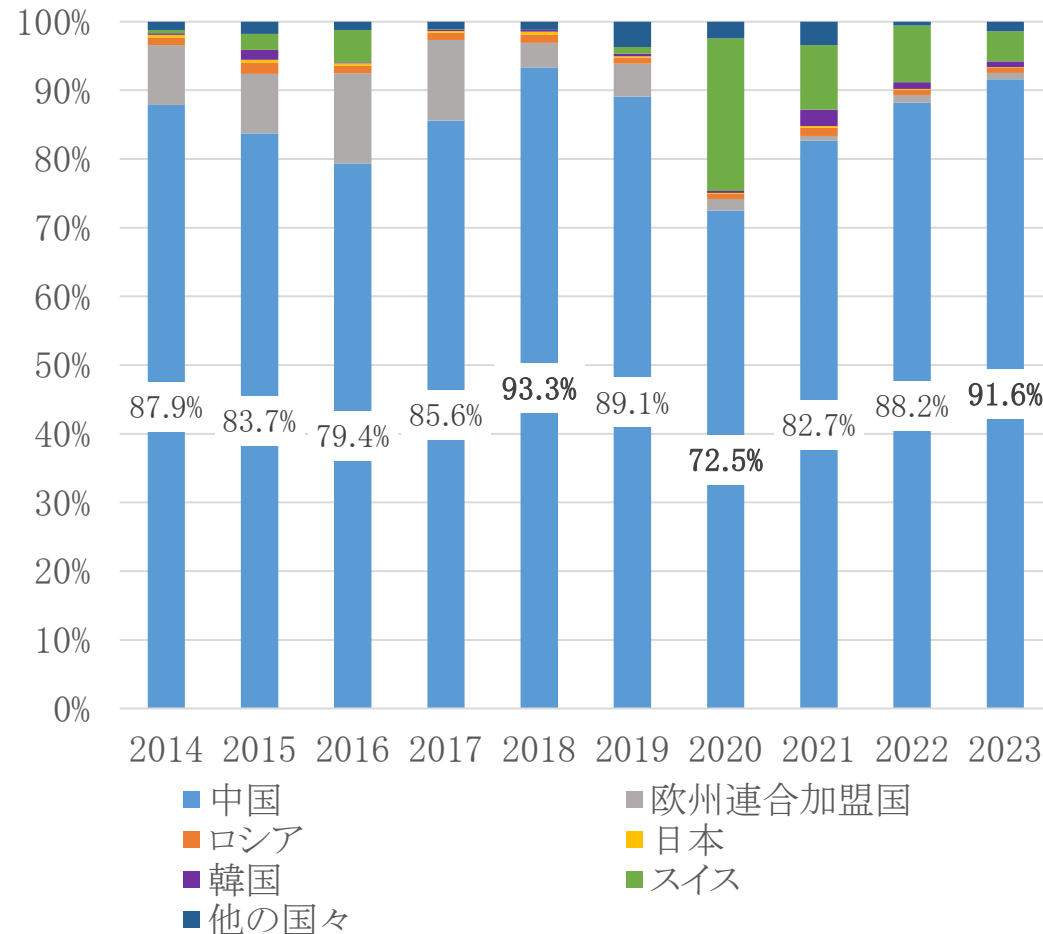
Mongolia's Trading Partners

輸出先（全体に占める割合）

輸入元の国（全体に占める割合）

Destinations of Exports (% of Total)

Origins of Imports (% of Total)



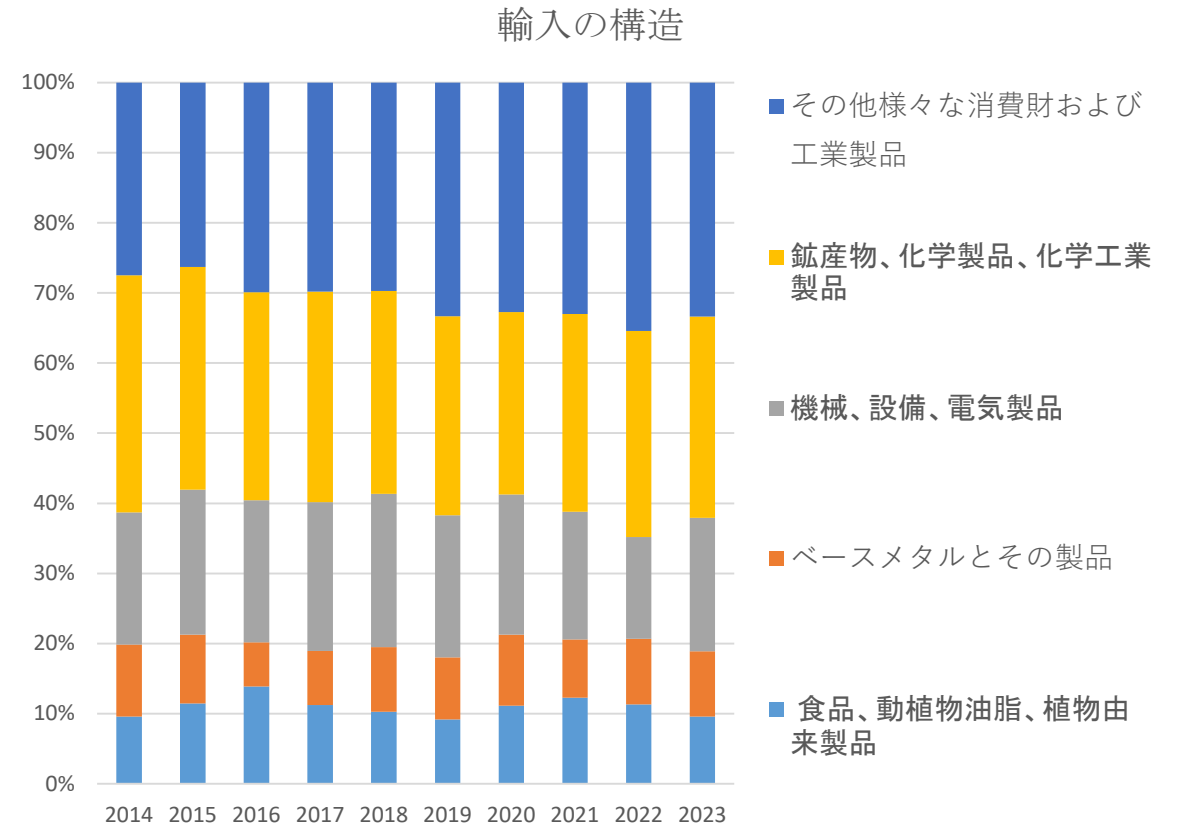
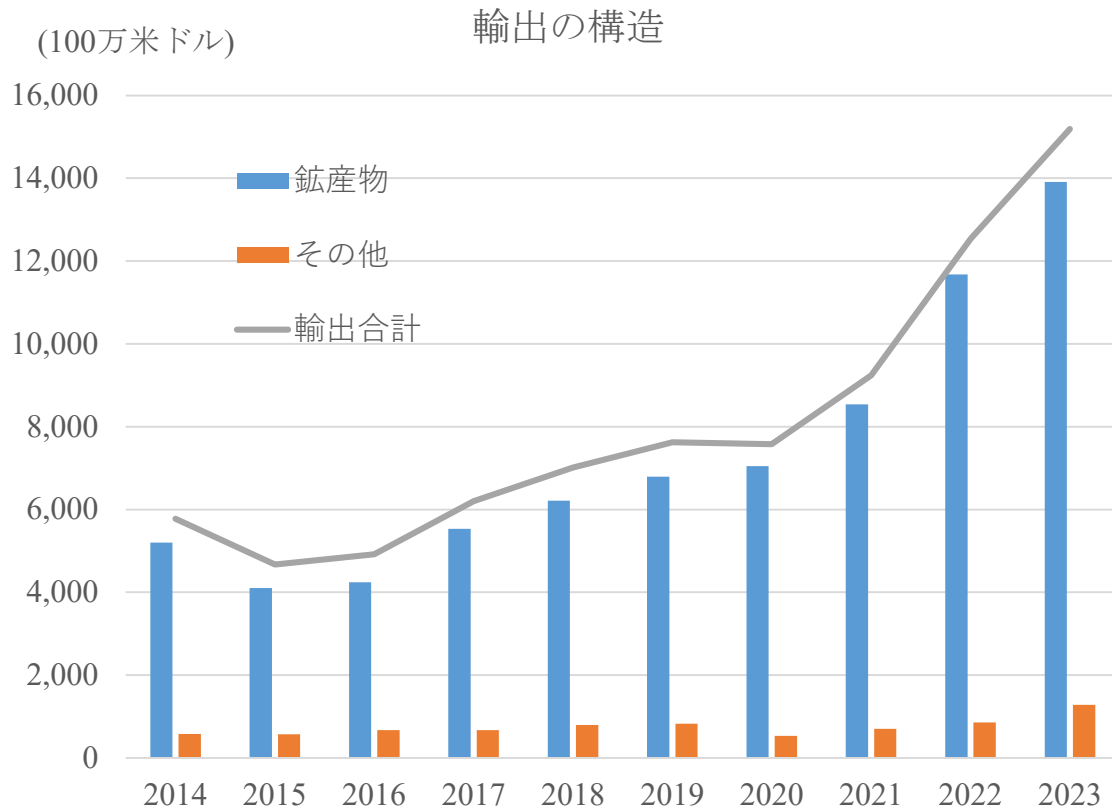
出典：モンゴル国家統計局、<https://1212.mn>

図7 モンゴルの対外貿易構造 (2014年～2023年)

Foreign Trade Structure

鉱物資源が輸出の大半を占める (2023年には全体の91.6%)
 Mining commodities dominate exports (91.6% of total in 2023)

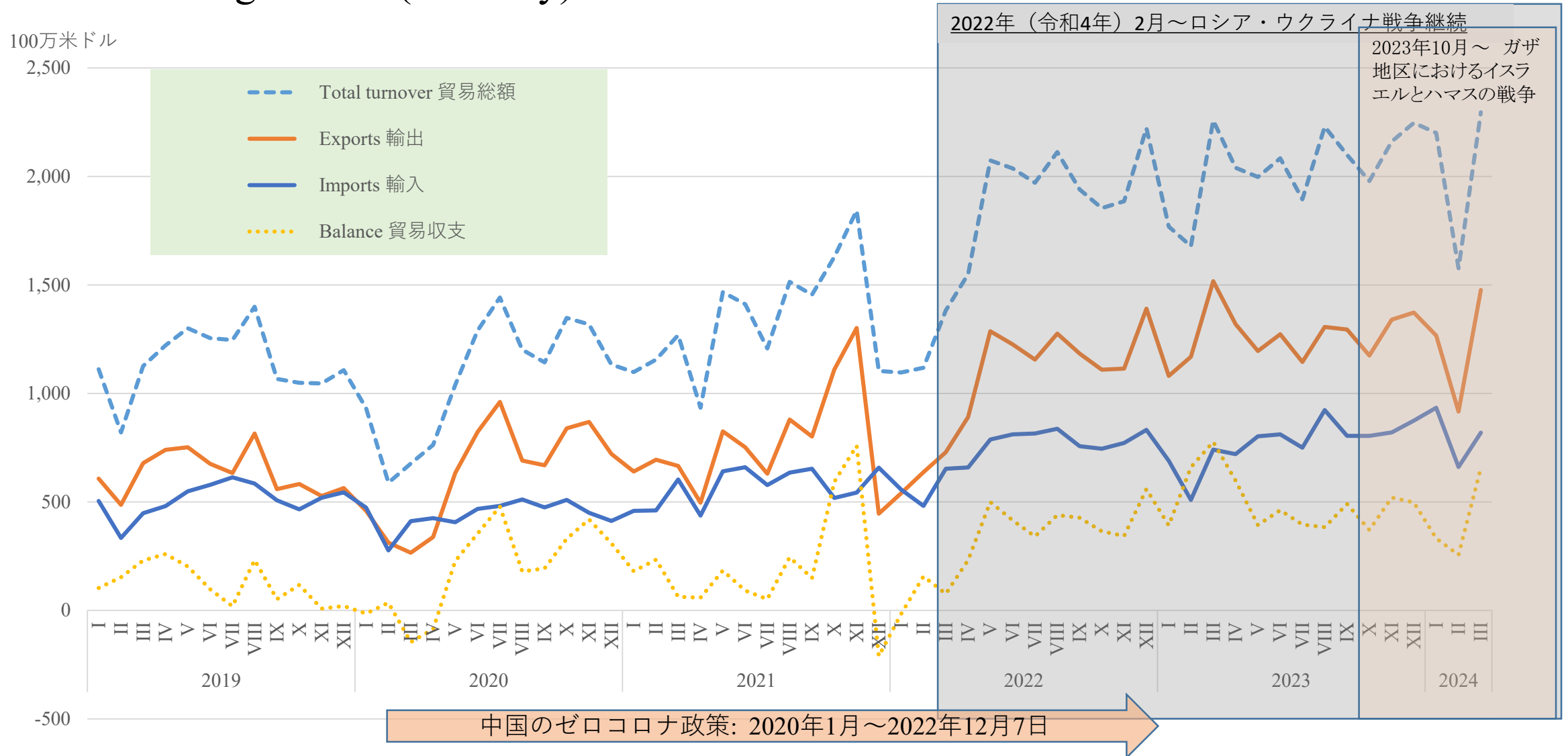
モンゴルへの輸入は広範囲の一般消費財及び産業用生産財
 Imports consist of a wide range of consumer and industrial goods.



出典：モンゴル国家統計局、<https://1212.mn>

図8 モンゴルの対外貿易 2019年-2024年3月（月次推移）

Foreign Trade (Monthly)



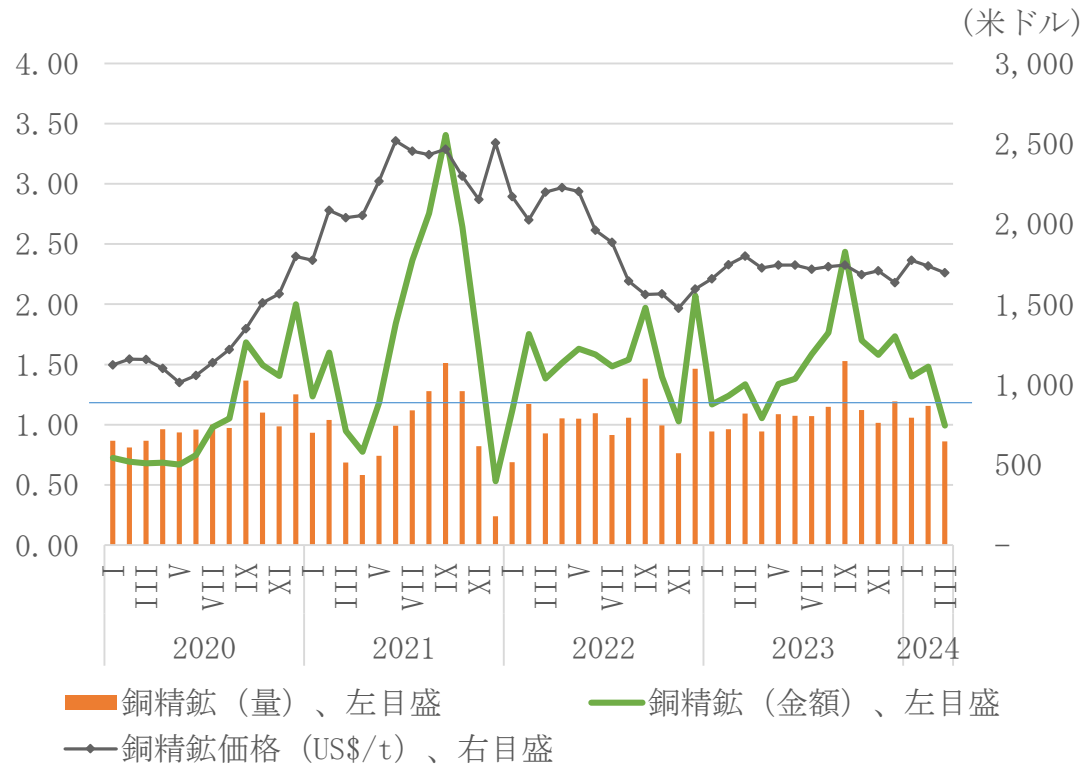
出典：モンゴル国家統計局、<https://1212.mn>

図9 主な輸出品目の動向

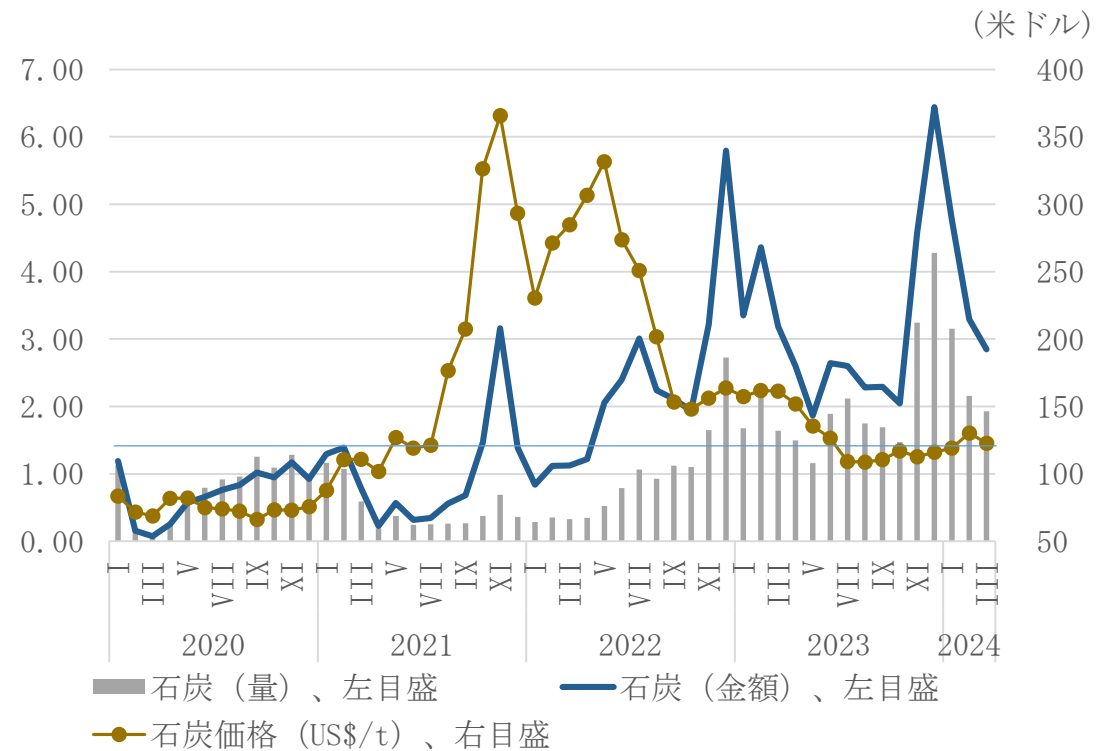
Dynamics of Key Export Commodities

輸出収入の増加は、以前よりも高い銅精鉱価格と、2022年12月初旬の中国のCOVIDゼロ政策の終了に伴う石炭輸出の増加に支えられた。Increased export revenues were supported by the higher than earlier prices of copper concentrates and increased volumes of coal exports following the end of China's Zero-COVID policy in early December 2022.

銅精鉱の輸出指数(2019=1.00)と価格(米ドル)



石炭の輸出指数(2019=1.00)と価格(米ドル)



III 結論

- モンゴル経済はCOVID-19のパンデミックショックから「V字型」の回復を達成し、2023年の実質GDP成長率は過去10年間で高成長の部類に入る;
- 2023年には、サービス部門が成長の最大の原動力となり、鉱業がそれに続き、最終消費と純輸出が経済の成長エンジンであった;
- しかし、モンゴルの輸出が引き続き鉱業商品と中国の単一市場に依存しているため、モンゴル経済は外部からのショックに対して極めて脆弱である.

ご静聴ありがとうございました。

Thank you for your kind attention!

ERINA-UNP

ウェブ：<https://www.unii.ac.jp/erina-unp/>